

医療機関対応フロー(案)1/3

事象	本部	病棟	放射線部	その他
警戒事態 (EAL1)	<ul style="list-style-type: none">メンバー参集資機材準備情報収集(院内外)	<ul style="list-style-type: none">病棟の状況(職員、患者)を取りまとめ本部に報告	<ul style="list-style-type: none">線量測定準備(機器の点検、BG測定)	
施設敷地緊急事態 (EAL2)に進展	<ul style="list-style-type: none">「災害モード」発令屋内退避準備を指示地域の原子力災害対策本部に報告と情報入手非番者の緊急招集の準備職員に状況、放射線の人体影響、今後の対応方針等の情報を発信BCPに関する判断(避難に伴う患者受け入れの実施行うか否か)PAZ圏内の職員のうち、乳幼児等避難時要援護者の保護者は帰宅させる	<ul style="list-style-type: none">患者に状況の説明患者家族に連絡災害時退院可能な者は退院準備屋内退避のための病室移動の準備	<ul style="list-style-type: none">屋内外の空間線量測定開始(定点を決定、NaIシンチレーション式サーベイメータを用いて腰の高さで測定。)屋内退避のため部屋の準備(窓の閉鎖、エアコン等の外気取入れ口を閉鎖、居室の窓際の空間放射線量率を測定し記録)	<ul style="list-style-type: none">外来・手術・透視部門等は「災害モード」に薬局・栄養・施設管理部門は備蓄の確認患者移動の準備、部屋の準備医事部門は紹介状作成準備入口の制限、施設内に入る際の汚染検査、脱衣等を行う前室の準備

医療機関対応フロー(案)2/3

事象	本部	病棟	放射線部	その他
全面緊急事態に進展(EAL3)	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内退避実施 ・避難計画の確認、現地対策本部に支援要請 ・情報収集(院内外) ・非番者の緊急招集 ・患者、職員のメンタルケア 	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内退避の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・線量測定 ・職員の個人被ばく線量管理(特に屋外作業を行うものについては、その作業ごとに被ばく線量を管理) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入口前室の管理を開始(手袋、マスク・コート等の脱衣、体表面汚染検査、簡易除染等) ・職員の休憩室の準備 ・安定ヨウ素剤に関する問診、対象者に配布
モニタリングポストの数値がOIL2を超える	<ul style="list-style-type: none"> ・救急車等の受け入れを中止(状況によってはより前の段階で中止してるところもあり) ・地域の原对本部から避難の指示を受ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1陣避難予定患者に状況の説明、避難時の持参物を準備 ・患者家族に連絡 ・衛生材料、非常用医薬品等準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・線量測定を継続、定時的に本部に報告 ・第1陣随行職員は避難の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品が不足した場合の調達方法を検討 ・避難患者の紹介状等準備

医療機関活動フロー(案)3/3

事象

本部

病棟

放射線部

その他

モニタリングポストの数値がOIL2を超える

- ・避難予定時刻を原対本部と調節(例:第1陣は明朝9時からとする)
- ・受け入れ先の確定、人員・車両の派遣を要請
- ・避難第1陣の随行職員
の指名

- ・第1陣随行職員
は避難準備

- ・清掃、給食など外部委託部門の業務を
分担して引き
継ぐ
- ・避難車両や
応援要員の受
け入れ準備

第1陣避難実施

- ・第1陣避難随行職員との連絡手段の確認
- ・地域の原対本部への連絡報告
- ・職員の勤務ローテーション等を検討

- ・持参品の最終確認
- ・避難中の患者
チェック項目の
確認

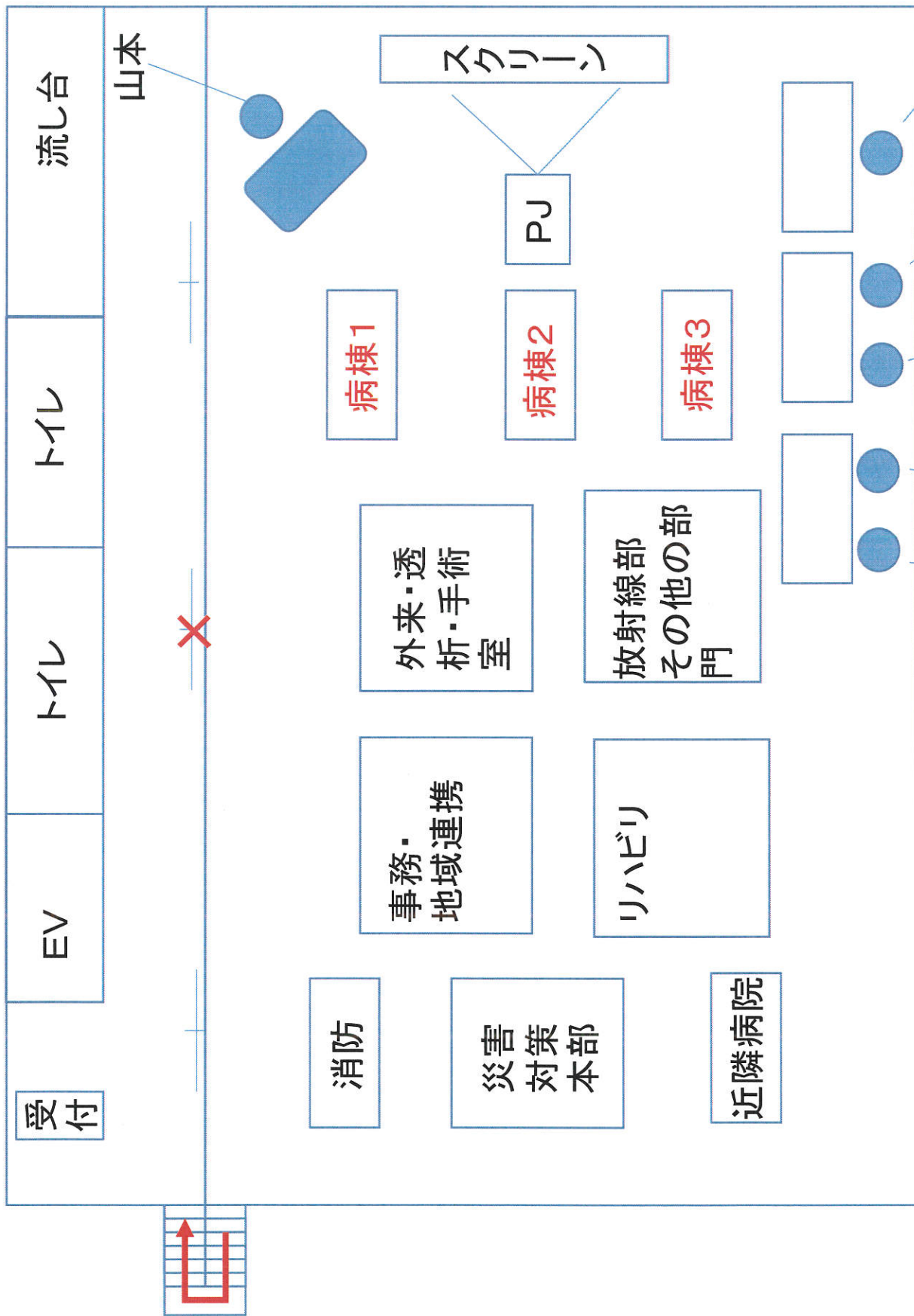
- ・線量測定
- ・避難に関する
作業中の個人被
ばく線量管理

段階的避難を実施

- ・地域の原対本部への連絡報告の継続
- ・避難患者、随行職員
状況の確認
- ・避難随行職員のメンタルケアの検討
- ・避難先の状況の確認

- ・第1陣避難時の
対応を見直して第
2陣以降の避難を
実施

- ・線量測定を
継続、定時的
に本部に報告
- ・外来透析患者、HOT患者
等の状況の
確認



医師会理事 電力事業者 県(保健所) 外部専門家
市危機管理課

A病院

「入院患者避難に関する勉強会」

本日の研修会について

* 本日の研修は机上演習です。

* ○○発電所で原子力災害が発生した場合に、○○病院の職員の皆さんがどのように活動をすれば良いかということをおみんなで考えます。

* ○○病院では、災害医療計画が作成されており、活動計画が規定されています。

本日は、原子力災害発生を想定して、その活動計画に基づいた行動を再確認するとともに、改善点を洗い出すことを目的としています。

いくつかの質問をいたしますので、病院の災害医療計画を確認し、チームと相談して考えましょう。

平成27年3月2日10時(平日昼間)

〇〇発電所で警戒事態(EAL1)が発令されました。

原因は、装置のトラブルで、地震等に複合したもの(複合災害)ではありません。

県の災害警戒本部が立ち上がりました。

マニュアルの確認

- * 病院はどこから情報を得ますか？
- * 災害対策本部はどこに開設されますか、準備物はどこにありますか、まず、何を行いますか？
- * 職員にはどのように情報が伝達・拡散されますか？
- * 病棟は、何をしますか？
- * 報告シートはどこにありますか？ 誰が記入し、誰がどうやって本部に提出しますか？
- * 放射線部は、何をしますか？
- * 放射線測定機器は、何が、どこに、何台保管されていますか？

平成27年3月2日14時(平日昼間)

事態は進行し、EAL2(施設敷地緊急事態)となりました。

県は、災害対策本部を設置、緊急時モニタリングを開始。PAZ住民のうち妊婦等の避難が開始されます。

* 本部は、診療体制をどうしますか?「災害モード」?

Discussion 1

* 本部は、次の事項について検討します。

情報収集 担当者、方法、カウンターパート…

屋内退避 実施の可否、必要な準備、関連部門…

非番の職員の緊急招集 実施の可否、方法…

職員の情報共有 方法、担当者…

その他

*「災害モード」にスイッチした場合、手術室、外来、透析室
放射線部、リハビリ、検査、病棟、医療連携は何をしますか。

外来の中止

実施中の手術・検査・透析・リハ等の中止

予定手術・検査・透析・リハ等の中止

帰宅誘導、帰棟誘導、会計処理

在宅患者への対応

等の注意点、問題点を確認して下さい。

Discussion 2

* 本部は、屋内退避を決定すれば何を指示連絡しますか？

- * 病棟は、以下について検討して下さい。(必要があれば他部署に相談して下さい)
 - 患者リスト作成 所要時間、問題点…
 - 患者への説明、患者家族への連絡 所要時間、問題点…
 - 屋内退避のための部屋替え、部屋の準備 所要時間、問題点…
 - その他
- * 放射線部は、以下について検討して下さい。
 - 職員の個人線量管理 方法、問題点…
 - 屋内外の線量測定 方法、問題点、報告書…
- * 本部は、資機材の備蓄に関連して、以下の項目の情報を収集して下さい。
 - 水、食料、(非常用電源) 備蓄量、保管場所、不足時の連絡先…
 - 薬品、医療材料、酸素等医療ガス 備蓄量、保管場所、不足時の連絡先…
 - 安定ヨウ素剤 備蓄量、配布の方法…
- * 本部は、災害対応の視点および放射線被ばく防護の視点から以下の判断をして下さい。
 - 避難中に発生した傷病者の受け入れ 可否、行う場合必要な準備・場所…
 - 不安を感じた一般住民の受け入れ 可否、行う場合必要な準備・場所…
 - 職員の勤務 優先的な避難を行うか、職員の休憩場所等の準備…
- * 以下の項目について関連部署は検討して下さい
 - 屋内退避のための部屋替え、部屋の準備、患者の移送
 - 災害時退院の際の退院手続き、紹介状作成、医療連携

平成27年3月2日17時(平日昼間)

事態はさらに進行し、EAL3(全面緊急事態)となりました。

PAZ住民は全員避難実施、UPZ住民も屋内退避を開始しました。

Discussion 3

* 本部は、屋内退避を実施します。次に何を実施しますか？

* 本部は、段階的避難について検討して下さい

患者リスト(優先度順)作成 問題点...

随行職員リスト(優先度順)作成 問題点...

受け入れ先、車両・要員の要請、時刻の調整

カウンターパート...

建物内への立ち入り者の管理 何を行うか、担当者は...

その他

* 病棟は、以下について検討して下さい。

患者への説明、患者の所持品の準備 所要時間、問題点...

避難時持参物の準備 リストアップ、所要時間...

紹介状の準備 所要時間、問題点...

* 他の部署は以下の項目について検討して下さい

職員の勤務ローテーション

職員のメンタルケア

平成27年3月2日20時(平日夜)

事態はさらに進行し、OIL2(近傍のモニタリ

ングポストの値が $20 \mu \text{Sv/h}$ を超える)と

なりました。

地域の災害対策本部から1週間以内の一

時移転の指示が出ます。物流が停滞します。

平成27年3月3日9時(翌朝)

地域の災害対策本部が調整して、第一陣の避難が実施されることとなりました。

Final Discussion

* これまでのシナリオを想起して、各班で以下のような項目を考えて下さい。

今後検討が必要な点
マニュアルに反映させる必要がある点
準備が必要な物品
ルール化が必要な事項
その他

さらに時間があれば、複合災害の場合について考えて下さい。